

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

男子Dリーグ戦

石川県選抜 11

5	－	0
3	－	1
3	－	1
0	－	1

3 山形県選抜

PSO

審判： 太田 一誠
武松 直輝

この試合のプレー集計

石川県選抜	22	SH数	17	山形県選抜
	5	速攻数	0	
	10	ST・SB	5	
	6	SH・P誘発アシスト	2	
	70%	GK阻止率	39%	
3	EX反則数	2		

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

前回準優勝の石川と東北の雄の山形との一戦。石川の攻撃力をどこまで山形が凌げるか。

【1P】

やや戦力差があるだけに、石川側の攻撃を山形は防ぎきれず、やや防戦一方の展開となった。石川は、無駄なシュートを放つことなく、⑤中村⑦前田⑩前田が動きのある中でシュートを決めて、石川5-0山形で第1ピリオド終了。対する山形は、ゴール前まで攻めることができず、外周からのシュートでそこを石川に反撃された形となった。攻撃が不十分な時の、“攻撃の終わり方”への備えがまだまだ出来ていない状況であった。

【2P】

ここでも1P同様の展開が続いたが、石川が大幅にペースダウンさせた展開に。点差がついたことから、積極的なカウンター攻撃には出ずに、ゆったり攻め上がるパターンに持ち込んだ。そういう展開でも左サイドから②小西が2得点をマーク。対する山形は石川の堅いディフェンスの前に、遠目からのシュートで決め手を欠いていたが、ピリオド終盤に、石川ボールを⑥森が奪取してボールを展開し、左サイドから④庄司が決めて1点を返して前半を折り返した(石川8-1山形)。

【3P】

このピリオドは石川が選手交代を積極的に行い、多くの選手に参加させつつゲームを進めた。その結果、交代選手にもシュート機会が多く生まれたものの、威力や精度を欠く形で、やはり中軸選手たちのカウンター攻撃などの泳力勝負での3得点にとどまった。対する山形は、ピリオド後半に失点後の再開プレーで右サイドに位置した③工藤がシュートを決め、石川11-2山形で第3ピリオドを終了した。

【4P】

石川は完全に選手を入れ替えた余裕の試合展開。しかし、さすがに中学生だけの力ではほとんどチャンスを作り出すことができず、山形がピリオド優位に試合を進めた。そういう展開となったが、山形はなかなかチャンス場面ができない状態で、石川のオフENS反則から得たペナルティ誘発での1点に留まってしまつて、試合終了。石川11-3山形で石川が余裕の勝利を収めた。